

哲學研究

第四十六卷 第九冊

第五百三十九號

昭和五十五年二月二十五日發行

現実活動態(上)……………	藤澤令夫
—— アリストテレスにおけるキーネーシス (あるいは運動の論理)とエネルゲイア(あるいは活動の論理)との区別——	
探求とロゴス(完)……………	水垣涉
マックス・ヴェーバーにおける 理解の方法(完)……………	西谷敬
空間と幾何学(完)……………	田村祐三

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
- 委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會は賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年二、〇〇〇圓（會誌三冊分を含む）を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

吉岡健二	湯淺幸	山田晶	森口美都	本吉良	水垣治	藤澤令	平野俊	服部正	長谷正	西谷裕	中村久	辻村公	杉山聖一	清水善	佐々木	酒井	木曾好	梶山雄
郎	孫	晶	男	治	涉	夫	二	明	当	作	郎	一	郎	三	亮	修	能	一

されよう (Paed. II)。これらは著しく「バイデイア」的である。

(2) 全体性の強調は、マルキオンやグノーシスの二元論への反対という面からもなされているであろう。

(3) エステノスをよく理解していたエウセビオスの言葉で言い直せば、「信仰のロコス」(ε τῆς πίστεως λόγος) と「真理探求」(τῆς ἀληθείας ἔρευνας) の関係でも (Eusebius, Hist. eccl. IV 18,6)。
(筆者 京都大学文学部「キリスト教学」助教授)

前 号 目 次

トマス・アクィナスにおける

《Causa rerum》について (承前) ……山田 晶

——Sum. theol. I, b. 14, a. 8——

デカルトの合理主義について……………山田引明
——理性の役割と意義——

G・W・F・ヘーゲル体系以前における
思想形成の内面的展開……………安 彦 恵

次 号 論 文 予 告

現実活動態 (下) ……………藤澤 令夫

知識学と「弁証法」

——一七九四年の『基礎』を中心に——

長澤 邦彦

ダルマキールティの
アポーハ論……………赤松 明彦

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年二、〇〇〇圓、但し、會誌三冊分）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京二一九二四七二番）宛に願います
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京 都 市 左 京 區 吉 田
京 都 大 學 文 學 部 内

昭和五十五年 二月二十日 印刷
昭和五十五年 二月二十五日 發行

編輯兼 京都大學文學部内
發行人 京 都 哲 學 會
編輯代表 杉 山 聖 一 郎

賣 捌 所 株式會社 創 文 社

久 保 井 理 津 男

東 京 都 千 代 田 區 一 番 町 一 七 番 地
振 替 口 座 東 京 二 一 九 二 四 七 二
電 話 東 京 二 六 三 一 七 一 〇 一 (代 表)

印 刷 所 曉 印 刷 株 式 會 社

東 京 都 文 京 區 関 口 一 一 二 四 一 八

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價七〇〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

昭和五十五年
二月二十五日
印刷

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLVI

February 1980

No. 9

Aristotle's Distinction between ENERGEIA and KINESIS

.....Norio Fujisawa

The Quest (zētēsis) and the LogosWataru Mizugaki

Die Methode des Verstehens bei Max WeberKei Nishitani

Space and GeometryYuzo Tamura

Published by
THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY
(The Kyoto Tetsugaku-Kai)
Kyoto University

Kyoto Japan